



令和4年度 | 施政方針

持続可能で魅力ある まちづくりを目指して

坪井 透 市長

令和4年かすみがうら市議会第1回定例会において、坪井市長が令和4年度の市政運営に対する施策概要を述べました。今回は、令和4年度におけるまちづくりへの主な取り組みを紹介します。 政策経営課（千代田庁舎）

はじめに

社会全体に甚大な影響を与えている新型コロナウイルス感染症は、本年に入ってからオミクロン株の感染拡大により、茨城県においても「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、収束の兆しが見えない状況が続いています。本市においては、市民の命と健康を守るため「感染拡大防止」と「経済活動」の両面から、積極的に対策を講じてきました。令和2年の国勢調査の結果、令和4年4月に本市の一部が過疎地域に指定されました。市民意識調査における住みやすさや定住意向は向上しているものの、引き続き市民の幸福感を高め、本市に住んでいて良かったと思えるよう、発展計画を策定し、市の持続的発展を図ります。また、第2次総合計画後期基本計画や行財政改革基本方針など、一体的な推進を図るとともに、確実な進行管理によって成果を得ることで、VUCA（ブーカ※1）時代に順応した市政運営に取り組めます。

自然の恵みを楽しむ まちづくり

環境問題

地球温暖化に関する問題やプラスチックごみによる環境汚染など、多様な環境問題に総合的・体系的に対応していくため、さらには脱炭素社会の実現などに向けて、環境基本計画を策定し、市民や事業者、行政の協働のもと、良好な環境の保全と創造に取り組めます。

自然環境

筑波山地域ジオパークの事業や帆引き船を活用した自然環境の学習などを展開し普及啓発に取り組めます。

冠水対策

市街地の雨水排水の課題について、調整池の整備による冠水対策を図ります。

都市環境

本市の市街地には公園・緑地が不足しているため、人と自然が共生する緑豊かな都市環境の充実を図り、複合交流拠点施設整備と併せ、防災機能を持った公園・緑地の整備を進めます。

ごみ

ごみの減量化や分別によるリサイクルを推進するため、指定袋制度を導入するなど、環境への負荷が少ない循環型社会の形成を目指します。



産業の振興で活力あふれる まちづくり

生産者支援

経営改善に取り組む意欲のある生産者への支援をはじめ、農業法人などの民間企業の参入を支援することで、若年層の新規就農や地域雇用を促進します。新たな農業経営のモデルとなるべく、畑地のかんがいなどの生産基盤整備について、県と連携し検討を進めます。

有害鳥獣対策

電気柵などの侵入防止柵の設置補助や捕獲報奨金の拡充など、引き続き対策を講じます。

「稼ぐ力」の強化

市内事業所の人材確保の支援やEC（※2）をはじめとした新しい販売方式の導入、新商品開発など「稼ぐ力」を強化します。さらに、デジタル化に向けた環境整備支援やワーケーションの普及促進など、官民連携による地域活性化を目指します。

消費者行政

国や県、その他関係機関と協力し、相談体制の一層の充実を図り、市民の安心・安全な消費生活のため、今後も継続して取り組めます。

観光

関係人口の増加に向け観光基本計画を策定します。ウィズコロナ・ポストコロナ社会においても、本市の特性を活かした観光の在り方を考慮しつつ、滞在時間の延長やリピート化を図るため、水辺のアクティビティをはじめ市内周遊型サイクリング事業など、個別型・分散型・小規模イベントの観光形態での実施を併せて検討します。

安心して快適に暮らせる まちづくり

神立駅周辺

中心市街地の神立駅周辺を一体整備することで、必要な都市機能の維持・誘導を図り、安全で良好な住環境の創出に努めます。令和4年度は、神立駅西口駅前広場および東口歩行者専用道路整備、神立停車場線沿線の複合交流拠点施設の実設計画および道路照明施設の設定工事に着手します。

空き家・空き地

美しい郷土景観の保全と魅力発信に努めるとともに、空き家・空き地対策により、住環境・生活環境の保全や空き家の利活用など、積極的に取り組めます。

公共施設

公共施設の効率的・効果的な維持管理に努めます。また、住民ニーズの多様化への対応や地域間の交流の促進を図るため、公の施設の広域利用を推進します。

公共交通

千代田神立ラインの運行ルートを見直すなど、市内公共交通の維持を図ります。

道路整備

土浦協同病院へのアクセスなど、近隣市との連携や役割分担のもと、広域的な視点での道路整備に取り組めます。(仮称)千代田PAスマートインターチェンジは、新規事業化に向け着実に事業を進め、市民生活の利便性向上を目指します。国道6号千代田石岡バイパスの未事業化区間の早期事業化や霞ヶ浦二橋の建設促進は、近隣自治体との連携を図り、引き続き国や県に要望します。

災害

感染拡大防止対策に配慮した災害用備蓄品の確保に努めます。市民の財産や安心・安全な暮らしのため、消防施設や車両、資器材などの整備更新を図ります。

健康で思いやりをもって暮らせる まちづくり

生きがいづくり

コロナ禍や高齢による外出控えは、身体機能の衰えや気分の落ち込みなどを招くことが懸念されています。「新しい生活様式」を踏まえ、ウエルネスプラザを主体としたトレーニングルームの活用や健康教室の開催、社会参加や交流活動などの生きがいづくりに取り組めます。

高齢者支援

日常生活に課題を抱える高齢者を支援するため、千代田義務教育学校区の地域包括支援センター開設に向け準備を進めます。

子育て支援

子どもの虐待防止と子どもや保護者からの相談に寄り添い支援するため、「子ども家庭総合支援拠点」を組織し、「子育て世代包括支援センター」などの関係機関と連携して、必要な支援を適切に実施できるよう、効果的な組織体制の構築を図ります。

障がいのある方への防災支援

防災意識の高揚と災害時に適切な避難行動がとれるよう「障がい者のための防災の手引き」を作成し、配布します。

医療体制の維持

引き続き地域医療の中核を担う病院を支援します。

未来を担う若者を育む まちづくり

保育士支援

「新型コロナウイルス感染症保育緊急対策事業補助金」を継続し、感染症予防に取り組みながら従事する保育士の支援と確保に努めます。

放課後児童クラブ

千代田義務教育学校に隣接した放課後児童クラブを開設し、児童を安心して預けられる体制を整備し、児童の健全育成を図ります。

児童・生徒の居場所づくり

地域住民による学習ボランティア活動の支援や保護者を対象とした家庭教育学級を実施し、学力の向上をはじめ、児童・生徒の居場所づくりを支援します。

移住定住・結婚

婚活支援や「住まいるマイホーム応援補助金」などの住宅取得に対する支援など、移住定住・結婚支援事業を積極的に推進します。

就労支援

「しごと」を地域で創出する仕組みとして、就労支援・企業情報発信サイト「Bizワークかすみがうら」を活用し、学生などと市内企業との就労マッチングを推進するとともに、ワーケーションを通じたインターンシップなどに取り組むことで、求職者が求めるワークスタイルの充実度を引き上げ、UIJターン就職の促進を図ります。

※1 ブーカ…VUCAとは、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字を並べた造語で、先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態を表す造語。
※2 EC…electronic commerceの頭文字で、インターネット上でモノやサービスを売買すること。

豊かな学びと創造のまちづくり

千代田義務教育学校

施設一体型の小中一貫校として、また、小規模特認校として、きめ細やかな指導や地域の特性を活かした活動など、特色ある教育を展開します。

GIGA スクール

GIGA スクール構想のもと、Society5.0 時代を生き抜く力を身に付け、国際的な視野を持つグローバルな人材育成を目指すため、1人1台端末を活用した学習内容の充実化など、教育現場のICT化を進めます。

下稲吉中学校

避難所機能を備えた体育館の整備工事を進めるとともに、下稲吉中学校区の給食センター整備に向けた基本設計を実施します。

スポーツ

若者から高齢者まで、仲間とつながりながら学び、教え、交流することで生まれる生きがいづくりの促進のため、いつでも、誰もがスポーツを始めるきっかけづくりの提供に努めます。

電子図書の導入検討

ビジネスマンや子育て・介護で忙しい方などもインターネットを通じ、貸出・返却が可能な非来館型サービスとして、電子図書の導入に向けた調査研究を進めます。

歴史資源

本市の魅力の一つである歴史資源をテーマとした、特別展・企画展を開催します。



市内周遊型サイクリング



神立駅周辺の一体整備



健康教室などによる生きがいづくり



ワーケーションによるインターンシップ



千代田義務教育学校の開校



出前講座などによる情報提供

みんなで作る連携と協働のまちづくり

まちづくり活動

地域の課題解決や魅力発信に自ら積極的に取り組む市民団体や特定非営利活動法人、行政区などのまちづくり活動を持続可能にするため、引き続き支援します。

多様性支援

国籍や性別などに関係なく全ての人々が暮らせる多様性を大切にしたいまちを目指して、男女共同参画のシンポジウムの実施や国際交流協会の設立と運営の支援を進めます。

自治体 DX

自治体 DX 推進計画に基づき、標準業務システムへの移行準備やマイナンバーカードの普及促進、「行政手続のオンライン化」などに取り組むことでスマート自治体を目指し、継続的な行政サービスの提供を目指します。

広報・広聴

市発行物に二次元コードを積極的に掲載し、ホームページとの連携を図るとともに、市公式アプリの利用を促進し、新着情報や緊急情報をプッシュ型で発信することにより、迅速で的確な情報の提供に努めます。

出前講座などの多様な方法により情報を提供するとともに、市民から意見や提言をいただく機会を確保し、市民の市政への参画を促進します。

財源の確保

個人および企業からのふるさと納税制度を有効活用するなど、収入源の多様化と拡充を図ります。また、社会状況を見極めた中で、都市計画税の導入について引き続き検討します。

広域行政

近隣市との施設の広域利用をはじめとする地域課題について、積極的に関係市町村と連携を図るとともに、定住自立圏構想、さらには市町村合併も含め、地域の連携手法を引き続き多角的に検討します。

令和4年度 予算概要

令和4年度当初予算編成については、新しい生活様式に適応した行政サービスの提供をはじめ、安全で安心して暮らせるまちづくり、そしてふるさとに誇りを持てるまちづくりを目指して、事業の必要性や費用対効果について十分に精査し、限られた財源の中で積極的な予算編成に努めました。

一般会計、特別会計を合わせた予算総額は、283億8,220万円となりました。

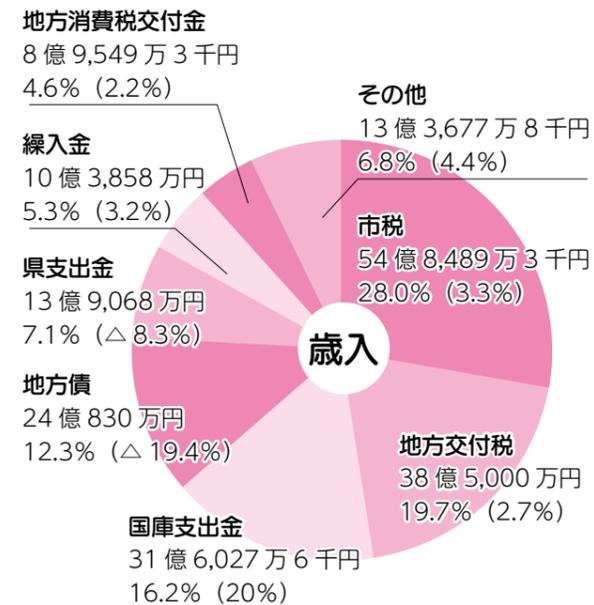
一般会計予算総額は、195億6,500万円となりました。

問 政策経営課（千代田庁舎）



歳入（一般会計）

- ▶ 国庫支出金は、複合交流拠点施設等整備用地購入や交通安全照明施設設置工事の実施により、5億2,705万7千円、20.0%の増
- ▶ 寄附金は、ふるさと応援寄附金の増加が見込まれることに伴い、1,129万7千円、37.8%の増

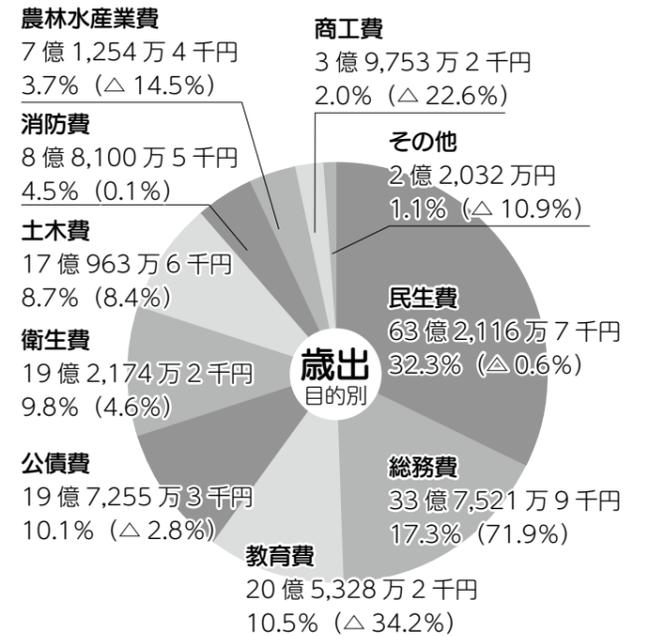


【グラフの表示】
・区分
・予算額
・構成比（増減率）

義務的経費 支出が義務付けられ、任意に節約ができない経費（人件費、扶助費、公債費）
投資的経費 道路や施設などの整備に使う経費（普通建設事業費、災害復旧事業費）
その他経費 上記以外の経費（物件費、補助費等、積立金など）

目的別歳出（一般会計）

▶ 総務費は、複合交流拠点施設等実施設計業務委託や用地取得費、交通安全照明施設設置、参議院議員通常選挙などにより、14億1,186万3千円、71.9%の増



性質別歳出（一般会計）

- ▶ 物件費は、参議院議員通常選挙や茨城県議会議員選挙の実施予定などにより、1億4,342万2千円、4.7%の増
- ▶ 補助費等は、産地生産基盤パワーアップ事業の皆減などにより、5,833万8千円、2.1%の減

